

大船渡湾内観測結果(No.12)

“今月の話題”

湾内の水温は5～6℃台であり、例年よりも0.4～0.7℃低めとなっています。透明度は先月に比べ低下し、二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは上昇しました。

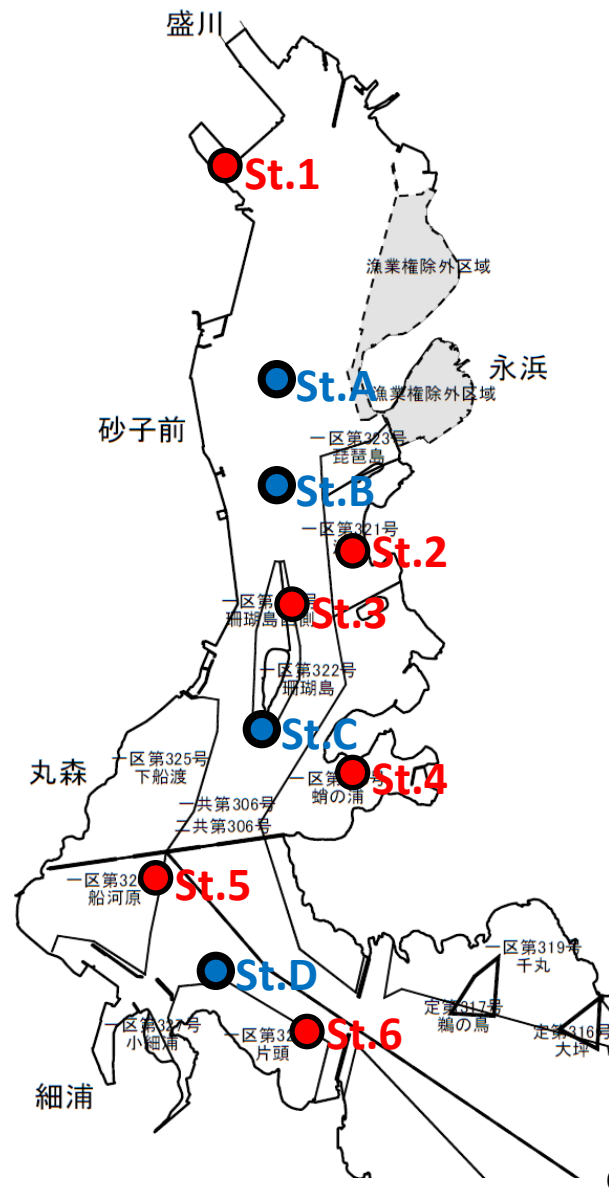
3月7日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度は8.0～9.5mであり、平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、+1.2～+3.1mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが6.2～6.6℃、水深10mが5.9～6.0℃でした。平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、水深2.5mが-0.4～-0.7℃、水深10mが-0.7～±0.0℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾
 調査担当:水産技術センター

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成31年3月7日					
観測時刻		11:18	11:32	10:55	10:35	10:21	10:04
天候		曇					
気温(°C)		5.9					
風向		N					
風力		2					
水深(m)		8.7	24.2	26.9	18.6	25.3	36.7
透明度(m)		8.0	9.5	8.5	9.0	8.5	9.0
水色		8	6	8	6	6	7
水温(°C)	表層0m	6.7	6.5	6.4	6.4	6.3	6.1
	水深2.5m	6.6	6.4	6.4	6.3	6.3	6.2
	水深10m	-	6.0	5.9	6.0	6.0	6.0
	海底上1m	6.0	5.9	5.9	6.0	6.0	6.0
塩分	表層0m	24.9	33.1	32.9	33.1	32.6	33.0
	水深2.5m	33.1	33.2	33.0	33.2	33.0	33.2
	水深10m	-	33.5	33.5	33.6	33.5	33.5
	海底上1m	33.5	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	104.0	119.4	118.1	120.9	116.7	117.9
	水深2.5m	120.5	121.9	119.9	123.1	118.0	119.5
	水深10m	-	118.0	109.0	113.0	117.9	109.3
	海底上1m	107.9	96.8	96.1	100.5	95.4	103.4
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	0.5	0.5	0.7	0.4	0.6	0.7
	水深2.5m	1.8	1.2	1.1	0.7	1.1	1.4
	水深10m	-	7.6	5.5	7.5	6.7	3.6
	海底上1m	4.3	5.4	4.4	4.1	4.0	3.0



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

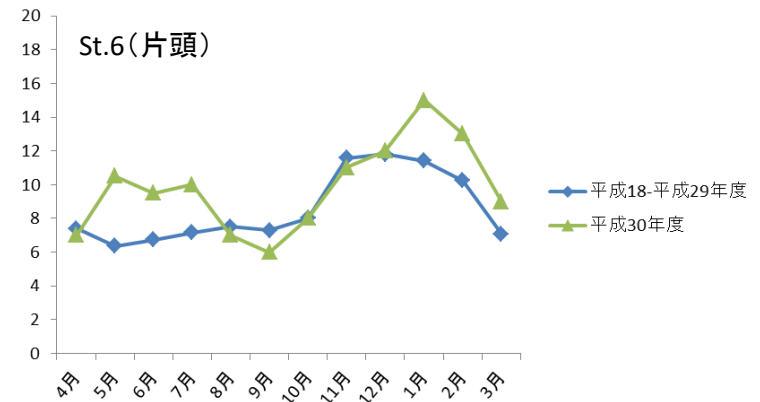
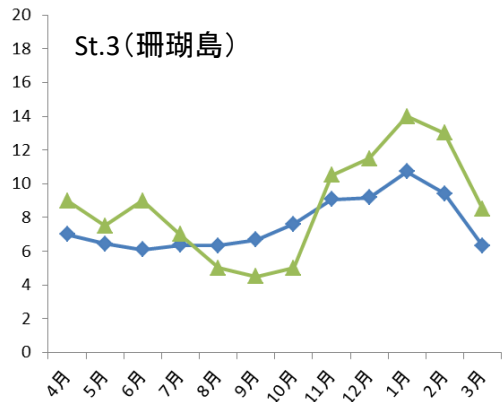
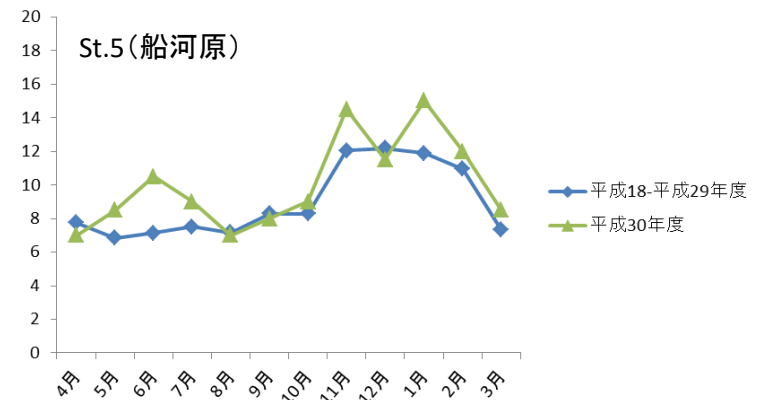
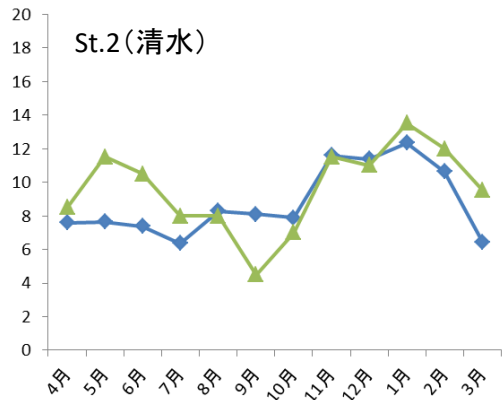
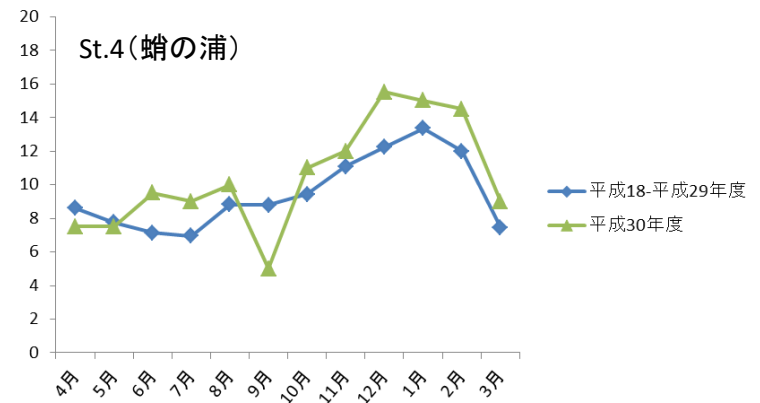
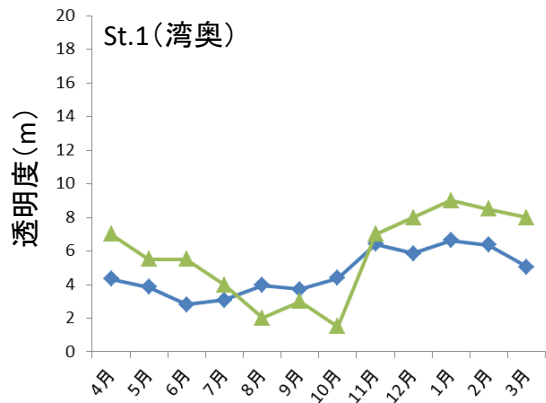


図2 透明度の推移

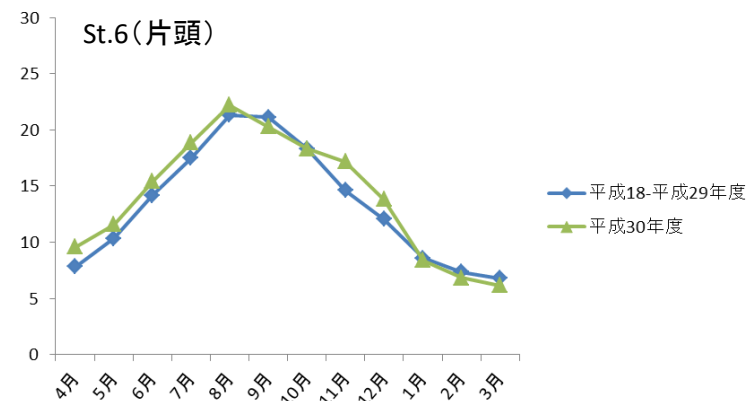
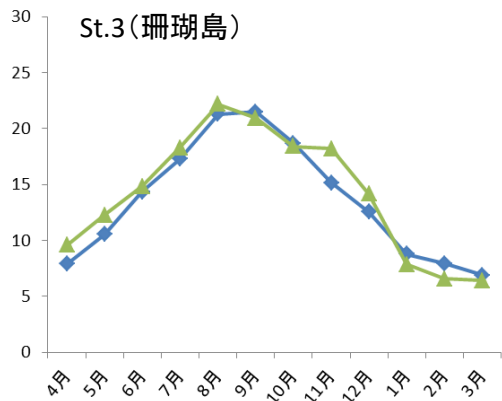
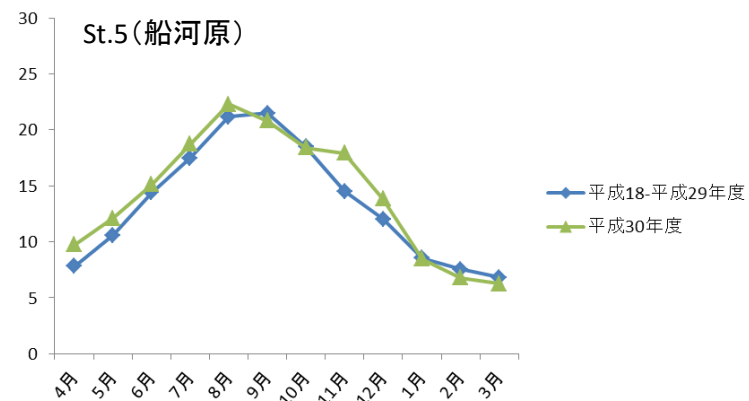
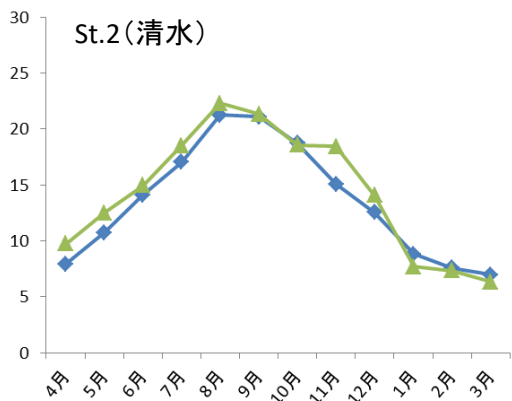
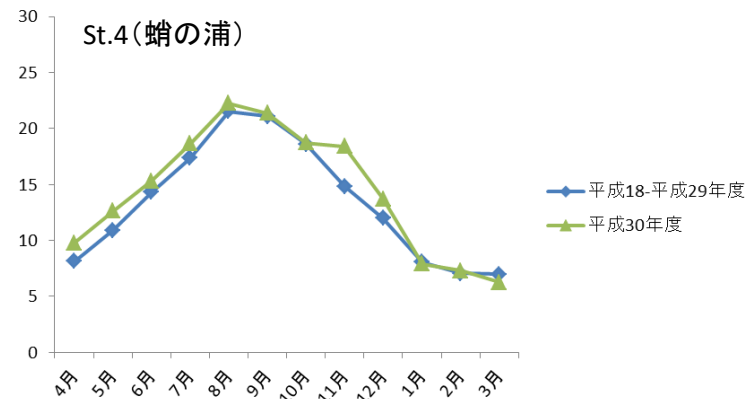
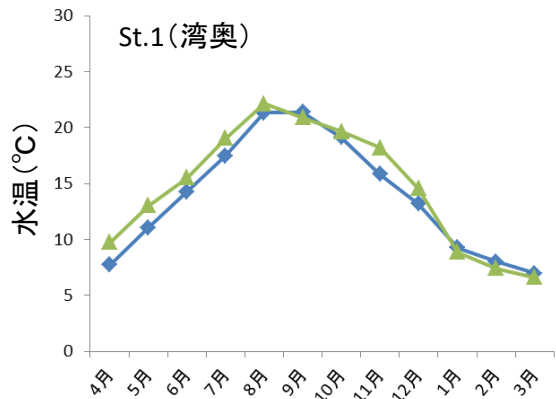


図3 水深2.5mの水温の推移

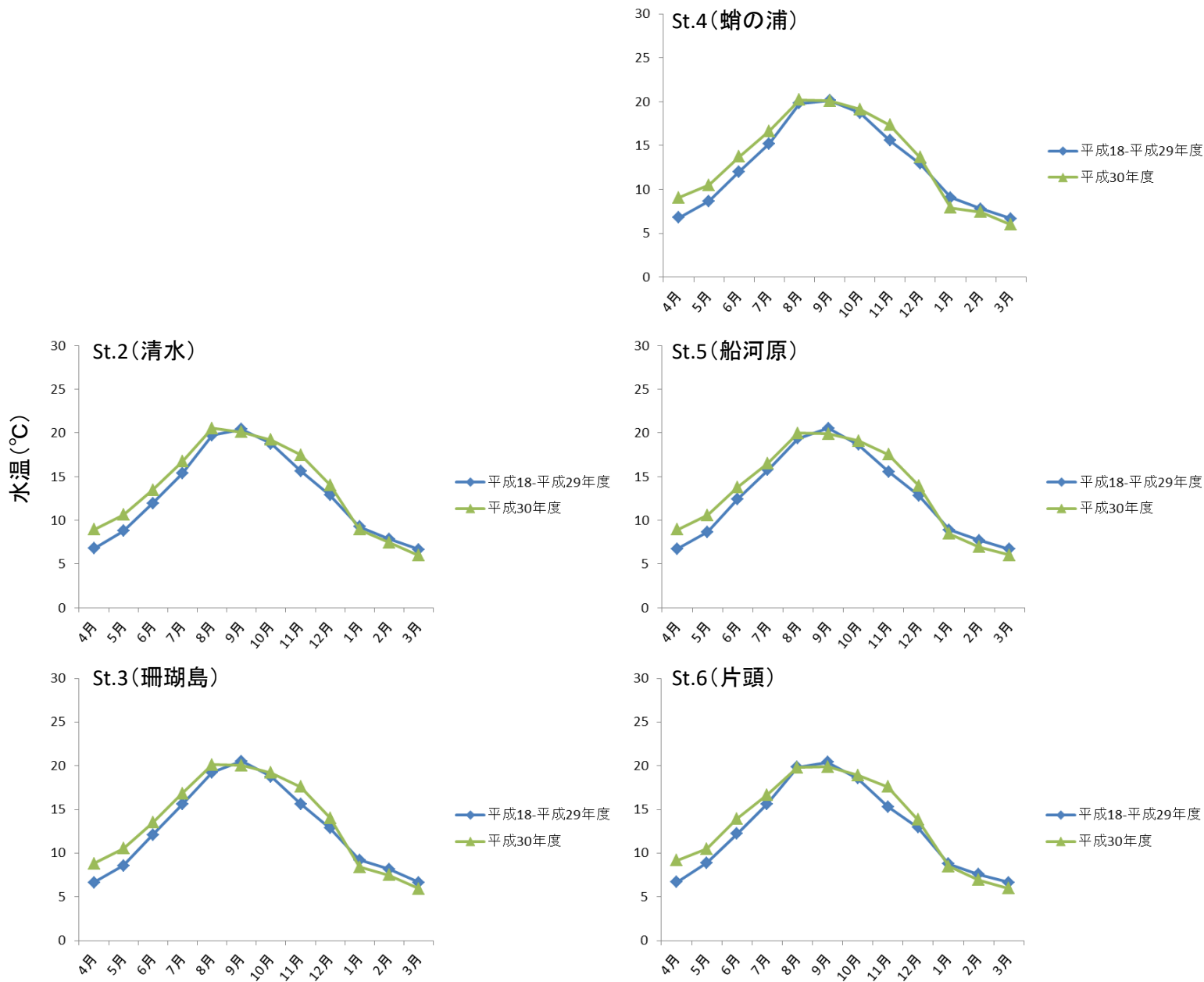


図4 水深10mの水温の推移

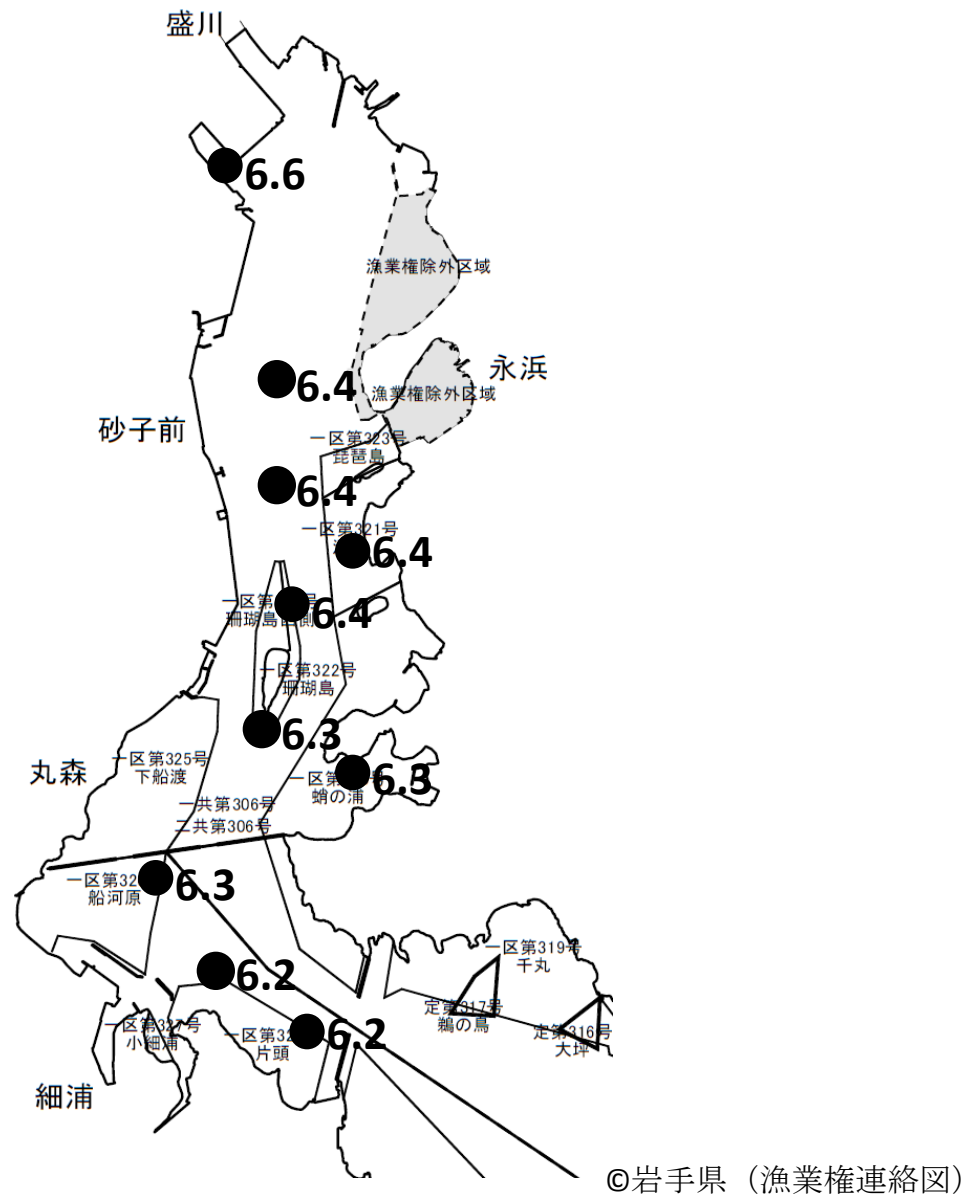


図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

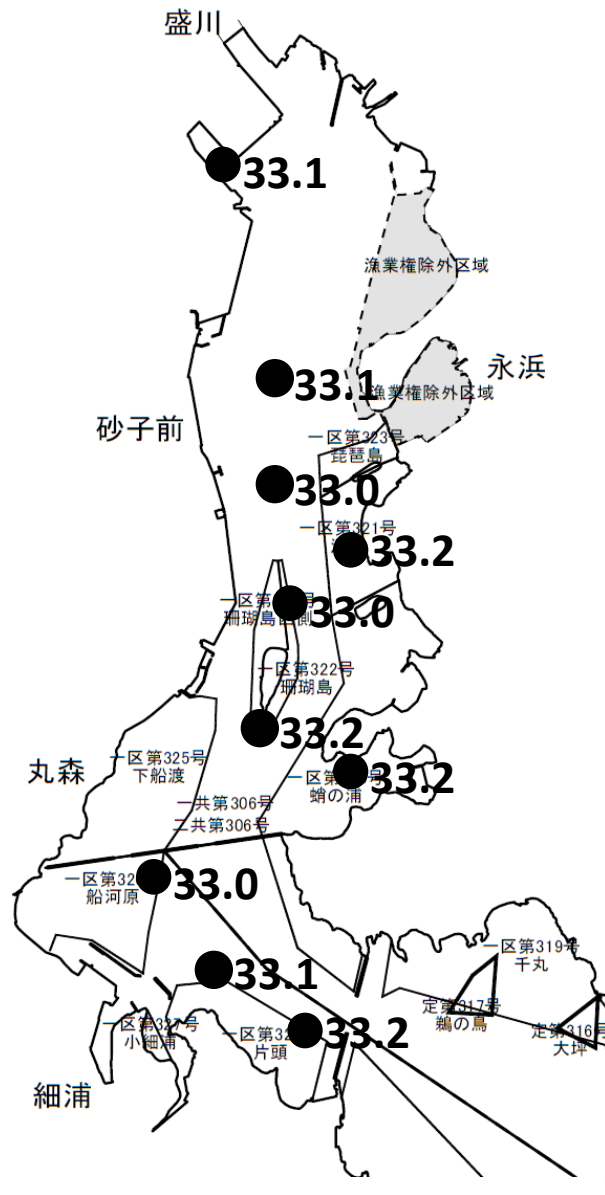


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

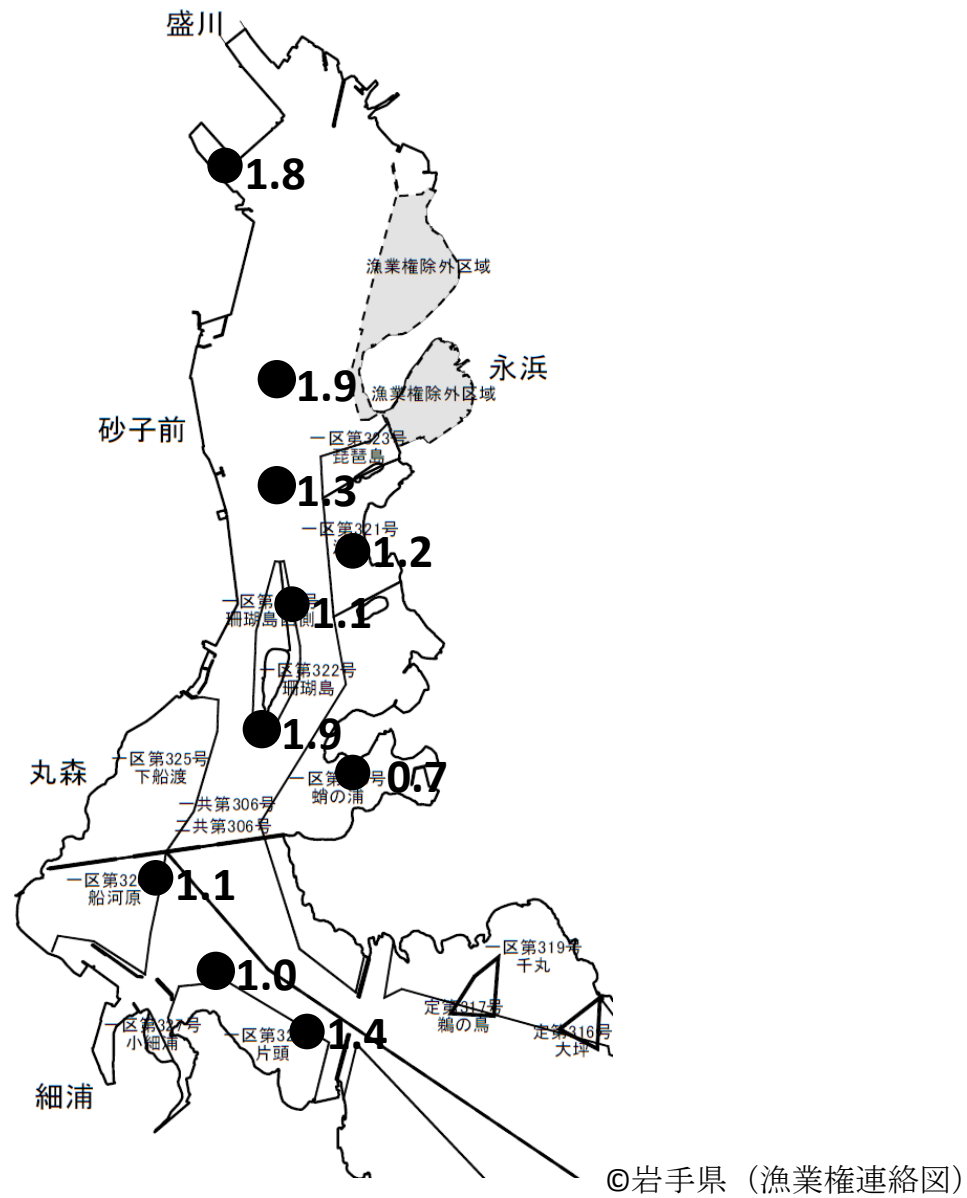


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。